



Weekly Report



クラブ・テーマ 「時流にあわせた変化と発展」

会長 小田光司 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 点鐘 12:30～13:30
幹事 田中芳明 事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
会長E 小林利郎 http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小田光司年度 第35回 通算2606例会 平成29年4月20日

副会長の時間 副会長 田口雅弘

仕事の都合でやむなくお休みする事になりました小田会長からお預かりした挨拶分を代読致します。

『今日は会社の都合によりお休みさせていただきます。大変申し訳ありません。今日のプログラムは小林エレクトからベツのご報告があります。次年度のロータリークラブの方向性を示していただけると幸いです。しっかりと聞いて、少しでもわからない所がありましたら質問するようにしてください。皆様の理解が深まるほど次年度は円滑に進むということを決して忘れないでください。』

なお今例会の代務を田口副会長にお願いしております。50周年の記念すべき年度の会長ですので今回のクラブフォーラムにはプラスになることも多々あるかと思ます。それではよろしく願いいたします。』

さて、最近人気になっておりますが、私も2～3年前より御朱印を集めております。まるでスタンプラリーのように集めている方もいるそうですが、本来御朱印は写経を納めた人に発行されるものだったそうです。皆様も興味がありましたら観光で神社仏閣を巡った際などに集めて、気分をリフレッシュし、職業奉仕やロータリー活動に益々は励んで頂ければと思います。



会場委員会 出山知宏

4月21日(金)は地区研修・協議会です。ご出席の方には前もってご案内申し上げておりますとおり、岩槻駅2階の改札口前に朝9時集合出発となっております。時間厳守でお願い致します。

また、現地へ直接向かわれる方は9時半までに到着できるようにお願い致します。



支援・広報・学友部門委員長 鈴木隆

「ロータリーの友4月号」について

【横組みから】

①RI会長メッセージ<P3>RI指定記事 子供達を疾病から守るワクチンはいくつもあります。天然痘などは撲滅されました。次はポリオです。2016年は37人が発症しましたが、撲滅までもう少しと呼びかけています。

②インターアクター<P7～13>

日本で最初に結成されたのは1963年でそれから50年を経て過去と今の活動をまとめています。震災復興支援や募金活動で地域奉仕活動はもとより台湾やフィリピンでの国外研修など幅広い活動が行われています。地域のインターアクト生にも読んでほしい記事です。

③女性会員で広がる多様性<P14～17>

当地区でも女性会員に積極的でないクラブがありますが、各地で活躍する女性会員の話題です。例会の雰囲気明るくなったり、活動での女性としての提案など男性会員だけでは作れないクラブ活性化の力となっていることがわかります。

④ロータリー財団100周年を祝う：バヌアツ支援を「モノ」から「ヒト」へ<P22>

10年前からバヌアツへの支援を続ける富山みらいRCの報告です。地球幸福度指数で1位に選ばれた国で診療所建設など「モノ」の支援していたが、今回富山の小学校との「ヒト」の交流を行い、両国の子供達にとってもよい機会を作ることができたという事です。

⑤「ロータリーの友」新コーナーのお知らせ<P39>

新年度から「New Generation」「私の一冊」「声」3つのコーナーがスタートします。ロータリアンの投稿を広く募集しています。



幹事報告 幹事 田中芳明

- さいたま観光国際協会より平成29年度功労者表彰の推薦についての依頼が届いております。提出期限平成29年5月12日 表彰期日平成29年6月開催予定
- ロータリー米山記念奨学会よりハイライト米山205号が届いております。
- 以上2点です



委員会報告

次年度幹事 出山知宏

5月の例会プログラムについての訂正です。

第2例会(5/11)は夜間(18:00～)になりますので、宜しくお申し上げます。

【第 2770 地区内からの掲載記事】

- ・「縦組み」から
- ①ロータリー・アットワーク写真編
- ・障害のある人もない人も共に楽しもう！（八潮 RC）＜P22＞
- ・小学生用サッカーゴールを寄贈（上尾 RC）＜P23＞
- ②ロータリー・アットワーク文章編
- ・少女たちの夢の一助にテントを寄贈（埼玉ゆず RC）
- 俳壇＜P20＞
- 元旦の鎮まる街に心澄む：谷野日出人（川口中央 RC）
- 亡き人の想ひ出ばかり冬田道：高橋也寸遠（川口中央 RC）

寄付金の優遇措置

米山記念奨学会に寄付する

ロータリー米山記念奨学会は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会へのご寄付は**所得税**（個人）、**法人税**（法人）の税制優遇が受けられます。

また、**遺言によるご寄付**をお受けする体制も整えており、**相続税**も非課税となります。

2012年1月以降のご寄付から、確定申告の際に、従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のどちらか有利な方式を選択することができます。税額控除とは、寄付額の約40%の金額が所得税額から控除されるもので、所得控除よりも控除額が大きくなる場合があります。

さらに、ロータリークラブの会員の皆さまについては、毎年（半期に一度）クラブから会員数分お送りいただく「普通寄付金」の金額も、控除の対象に含めることができます。

ロータリー財団に寄付する

公益財団法人ロータリー日本財団への個人、法人からのご寄付は、公益目的事業を支援するために支出された「特定公益増進法人」への寄付金として取り扱われ、税制上の優遇措置の対象となります。個人の寄附金に対する優遇措置は、「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択することができます。「税額控除」をお受けいただくためには、確定申告の際「領収証」のほかに、「税額控除に係る証明書」の提出が必要となります。



本日のお食事

ご寄付をお考えの方は支援・広報・学友委員会まで。



次年度クラブ組織図 会長エレクト 小林利郎

国際ロータリー第 2770 地区
2017～2018 年度
会長エレクト研修セミナー
（PETS）報告



日時：3月9日（木）～10日（金）
於：ラフレさいたま

大貫 等ガバナーエレクトの点鐘でセレモニーが始まり

- ・次年度地区研修リーダー 三国 明 氏から「会長のリーダーシップについて」～
- ・ガバナーエレクト基調スピーチ「次年度 RI テーマ及び地区方針」～
- ・危機管理委員長より「ロータリーに関わる危機管理」等の講演を聴き RI 会長イアン・H.S. ライズリー氏が掲げたテーマ「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」、「ロータリー：変化をもたらす」の意味が理解できたような気がいたしました。

世界を良い方向に変えて行く、そのために私たちのクラブのあり方をも変え、大きく複雑すぎるロータリー、この“ロータリーとは？”のシンプルであるはずの問いかけに対して、ロータリーについて未だに深く理解出来ていない私にとっての都合の良過ぎるある意味抽象的な考え方もかもしれませんが、この問いに対して会員ひとり一人の解釈で説明することが出来る様に柔軟性をもったクラブ運営に心掛けて行ければと考えが膨らみました。

そして地区運営方針「新たな行動 新たな感動」です。奉仕によって相手に大きな変化をもたらし、奉仕をする私たち自身にも変化がもたらされることを意識することで新たな感動が得られるのかもしれない。

会員の事業・活動に対しての飽和感、あるいは飽き・マンネリ感があるようであれば、それに逸早く気付いて、あるいは意見を伺って改善へのより良い方向を見出して行ければと考えます。

最終日、印象に残った言葉です

“Enter to Learn, Go Forth to Serve”
「入りて学び 出でて奉仕せよ」

スマイルBOXより

- メンバー（50音順）
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 菊地 廣 | 小林利郎 | 鈴木 隆 | 関根信行 |
| 田口雅弘 | 田中芳明 | 田畑寛樹 | 津多一幸 |
| 出山知宏 | 中村 正 | 三浦宣之 | |
- 🌸 たくさんのご芳志ありがとうございました 🌸

スマイル報告	
本日のスマイル合計	12,000 円
年間累計額	699,386 円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
25	12	1	1	56.00%